

關西大學法學論集 論文索引 (第56卷—第66卷)

第56卷

論 説	号 頁
遺留分事前放棄者の代襲相続人の遺留分権について	千 藤 洋 三…… 1 (1)
中立的行為による幫助の可罰性	山 中 敬 一…… 1 (34)
リスク社会と環境国家 ——法哲学の視点から——	竹 下 賢…… 1 (135)
少年院における禁煙指導	永 田 憲 史…… 1 (152)
接受国による保護義務及び責任の範囲について ——領事関係条約第三六条の個人の「権利」との関連で——	吉 原 司…… 1 (183)
古代ローマにおける水をめぐる関係と <i>litis consortium</i>	岡 徹…… 2・3 (1)
西洋的法観念の形成 —— <i>imago Dei</i> から <i>homo juridicus</i> へ——	市 原 靖 久…… 2・3 (59)
遺留分事前放棄者の相続放棄による遺留分の影響について	千 藤 洋 三…… 2・3 (89)
F・フクヤマ教授と現代アメリカ問題 ——F・フクヤマ教授の業績紹介を中心として——	眞 鍋 俊 二…… 2・3 (115)
民主主義と「テロ」との戦い ——愛国法延長の政治的意味——	大津留(北川)智恵子…… 2・3 (145)
法案作成過程における規制の新設審査の分析	石 橋 章 市 朗…… 2・3 (175)

定期金賠償積極論と処分権主義 ——被害者の申立てによらない定期金賠償の可能性をめぐって——	越山和広…… 2・3 (223)
ニュージーランドの罰金刑	永田憲史…… 2・3 (265)
公法抵触と国際租税法の端緒と進展 (結語) ——別の視点よりする補足——	本浪章市…… 2・3 (313)
神権天皇制と象徴天皇制における〈制度的断絶性と意識的連続性〉 ——法社会学、法文化論の視座から——	角田猛之…… 2・3 (355)
国境を越える REIT と課税 ——ドイツにおける最近の動向を中心に——	宮本十至子…… 2・3 (399)
ドイツ・キリスト教民主主義政治史試論	土倉莞爾…… 4 (1)
選挙期間中における候補者ウェブサイトへのアクセス状況 ——二〇〇四年参院選データによる分析——	岡本哲和 石橋章市朗…… 4 (40) 脇坂 徹
トンガ王国の刑事制裁	永田憲史…… 4 (75)
刑事施設被収容者の喫煙	永田憲史…… 4 (95)
ローマ法における重要な事件と重要でない事件	岡 徹…… 5・6 (1)
憲法の私人間適用という枠組みのほころび	西村枝美…… 5・6 (51)
K・レーヴェンシュタインにおける「コントロール」概念	吉田栄司…… 5・6 (85)
罰金刑の目的	永田憲史…… 5・6 (131)

結果的加重犯の未遂 ——ドイツの議論を中心に——	佐伯和也…… 5・6 (153)
犯罪論における「危険予測」の二元的構想	山中敬一…… 5・6 (175)
二一世紀国際秩序の模索 ——一つの覚書	藤田久一…… 5・6 (195)
ドイツにおける労働者の行態を理由とする解雇と事前警告の法理	藤原稔弘…… 5・6 (249)
港湾当局への運送品の強制的委託に基づく運送人の責任 ——イタリア破産院二〇〇三年六月一六日九六二九番判決を契機として——	栗田和彦…… 5・6 (287)
熟議制民主主義における議会の役割	大津留(北川)智恵子…… 5・6 (315)
現代政治における左右対立軸(持続と変化) ——フランスにおける政治意識調査から——	森本哲郎…… 5・6 (341)
現代フランスの極右とポピュリズム	土倉莞爾…… 5・6 (375)
研究ノート	
小泉外交における孤立主義的的局面について ——現代日中関係論にむけての一考察——	眞鍋俊二…… 1 (227)
条約法条約の逐条コメンタリー(五)	条約法研究会…… 4 (114)
国際人道法における反徒の法的地位 ——非国際的武力紛争の場合——	守谷(上地)瑠美子…… 4 (185)
英国 REIT 税制における論点整理	藤原拓哉…… 4 (205)

資 料

施設見学記録(2) 宇治少年院	永 田 憲 史…… 1 (252)
施設見学記録(3) 京都医療少年院	永 田 憲 史…… 4 (246)

紹 介

フリーダー・デュンケル著 『罰金刑不払により刑務所へ収容される者の数の削減』 ——メクレンブルク・フォアポンメルン州（ドイツ）における 公益労働を用いた経験——	永 田 憲 史…… 1 (256)
---	-------------------

書 評

太田義器著 『グロティウスの国際政治思想——主権国家秩序の形成——』 (ミネルヴァ書房, 二〇〇三年)	安 武 真 隆…… 4 (252)
---	-------------------

第57巻

論 説

	号	頁
手形行為と „falsa demonstratio non nocet“ の原則・序説		
	福 瀧 博 之…… 1 (1)	
遺留分事前放棄の申立ての許可基準について	千 藤 洋 三…… 1 (60)	
ニュージーランドの反則金と我が国の交通反則金	永 田 憲 史…… 1 (112)	
権力を意味づけるもの (一) ——ジェンダー・セクシュアリティとイデオロギー——	木 村 祐 治…… 1 (138)	
「自由」を軋ませる「基本権の私人間適用」	西 村 枝 美…… 2 (1)	

罰金刑の量定 (一)	永田憲史…… 2 (43)
権力を意味づけるもの (二) ——ジェンダー・セクシュアリティとイデオロギー——	木村祐治…… 2 (68)
証人と証言 (一)	岡 徹…… 3 (1)
刑法における類推禁止の原則 (上)	川口浩一…… 3 (36)
罰金刑の量定 (二・完)	永田憲史…… 3 (55)
キリスト教民主主義とコーポラティズム ——1930年代ヨーロッパ比較政治の一側面——	土倉莞爾…… 4 (1)
民事訴訟における訴訟代理人・弁護士の行為統制 ——当事者本人の意思を基礎とする訴訟代理論の試み——	吉田直弘…… 4 (43)
貨幣価値の変動に対する罰金刑の調整	永田憲史…… 4 (95)
多文化的市民像の実験 ——ツイン・シティの事例から——	大津留(北川)智恵子…… 5 (1)
マーシャル諸島共和国の刑事制裁	永田憲史…… 5 (47)
カナダ憲法における先住民の 「土地権 (aboriginal title)」に関する一考察 (一) ——「権原 (title)」をめぐる先住民の法廷闘争と学説の応答——	守谷賢輔…… 5 (65)
マイケル・サンデルの政治理論 ——コミュニタリアニズムから公共哲学へ——	中村隆志…… 5 (100)
現代日本における選挙民の「ちぐはぐさ」に関する一考察	土倉莞爾…… 6 (1)

電話番号探知捜査について

—アメリカ愛国者法を契機として—

松代剛枝…… 6 (56)

刑法における類推禁止の原則(下)

川口浩一…… 6 (74)

ナウル共和国における拘禁刑の代替策

永田憲史…… 6 (93)

ドイツ行政裁判所法における仮命令手続と

本案訴訟の関係に関する一考察

—本案判決後の仮命令等の帰趨の問題を中心に—

長谷川佳彦…… 6 (121)

カナダ憲法における先住民の

「土地権(aboriginal title)」に関する一考察(二・完)

—「権原(title)」をめぐる先住民の法廷闘争と学説の応答—

守谷賢輔…… 6 (147)

研究ノート

イギリス領ピトケアンの刑事司法

永田憲史…… 1 (172)

ニュージーランド領クック諸島の刑事司法

永田憲史…… 2 (99)

ドイツ法における経営判断の原則

—株式会社九三条一項二文と Marcus Lutter の見解—

福瀧博之…… 4 (132)

ドイツ法における経営判断の原則と利益衝突

—ドイツ株式法と Marcus Lutter の見解—

福瀧博之…… 6 (181)

判例研究

テロ・安全対策と個人的自由・権力分立

—フランス憲法院二〇〇六年一月一九日判決覚書—

村田尚紀…… 1 (180)

遺贈と登記

——不動産の二重譲受人双方が譲渡人を相続した場合の対抗関係について——
 (最高裁昭和四六年一月一六日判決
 民集二五卷八号一一八二頁遺産確認等請求事件)

高森八四郎…… 6 (219)
 濱田絵美

翻 訳

ビューロー『訴訟抗弁論と訴訟要件・第六章第二節』(一)

岡 徹…… 1 (195)

資 料

グローバル化と法

——とくに日米の動きを念頭に置きつつ——
 (漢陽大学・関西大学両大学国際交流シンポジウムの基調講演)

眞鍋俊二…… 1 (200)

施設見学記録(4) 三重刑務所

永田憲史…… 1 (235)

現代大学問題の新たな局面について

——当面する大学教育政策のための一考察——

眞鍋俊二…… 2 (107)

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」罰則規定の注釈(上)

川口浩一…… 3 (105)

抗弁論研究(一)

岡 徹…… 4 (171)

施設見学記録(5) 宮川医療少年院

永田憲史…… 4 (187)

沙門空海(遍照金剛)と現代

——宗教と政治の局面に関する若干の覚書——

眞鍋俊二…… 5 (145)

第二三回 IVR (法哲学・社会哲学国際学会連合)世界大会

「二一世紀における法と法文化——多様性と統一性」
 (二〇〇七年八月一—六日, ポーランド・ヤゲェウォ大学) 紹介(一)

角田猛之…… 5 (226)

施設見学記録(6) 神戸刑務所
永 田 憲 史…… 5 (268)

施設見学記録(7) 岩国刑務所
永 田 憲 史…… 6 (241)

第58巻

論 説

号 頁

無法な「国民」土留事件
田 村 詩 子…… 1 (1)

狩猟禁止区域・期間(日時)の不知・錯誤(上)
——行政犯における事実の錯誤と法律の錯誤との限界——
川 口 浩 一…… 1 (51)

ヴァヌアツ共和国の刑事制裁
永 田 憲 史…… 1 (75)

証人と証言(二)
岡 徹…… 2 (1)

妊娠中絶の自由の再定位(一)
——身体的統合性への権利として——
小 林 直 三…… 2 (14)

米国法における海上物品運送賃請求権に関する一考察(一)
金 玲…… 2 (60)

信託と訴訟手続の中断・受継
栗 田 隆…… 3 (1)

負担付遺贈及び信託の関係人の破産
栗 田 隆…… 3 (24)

ミクロネシア連邦の刑事制裁
永 田 憲 史…… 3 (50)

妊娠中絶の自由の再定位(二・完)
——身体的統合性への権利として——
小 林 直 三…… 3 (68)

米国法における海上物品運送賃請求権に関する一考察 (二)	金 玲……	3 (100)
不作為犯と作為犯の共犯関係	山 中 敬 一……	4 (1)
サモア独立国の刑事制裁	永 田 憲 史……	4 (23)
米国法における海上物品運送賃請求権に関する一考察 (三・完)	金 玲……	4 (47)
破産法一四八条三項について	栗 田 隆……	5 (1)
ソロモン諸島, キリバス共和国及びツヴァルの刑事制裁	永 田 憲 史……	5 (16)
シビック・パワーとしての市民オンブズマン ——仙台市民オンブズマンと宮城県政の事例分析——	坂 本 治 也……	5 (53)
市民活動とシティズンシップ	寺 島 俊 穂……	6 (1)
刑法六五条の解釈について——ドイツ法との比較 (上)	川 口 浩 一……	6 (53)
死刑選択基準は変化したのか ——光市事件を素材に——	永 田 憲 史……	6 (73)
研究ノート		
ニュージーランドの不定期刑	永 田 憲 史……	1 (92)
ニュージーランド領ニウエの刑事司法	永 田 憲 史……	2 (110)
高度大衆化時代の大学教育 ——「社会的基礎力」ないし「学士力」養成論を念頭に置きつつ——	眞 鍋 俊 二……	4 (105)

ニュージーランド領トケラウの刑事司法

永田憲史…… 6 (97)

判例批評

障害基礎年金等の受給資格制限の合憲性

——学生無年金障害者東京訴訟最高裁判決——

村田尚紀…… 5 (121)

放送局の番組編集権と取材対象者の期待(権)

——NHK 番組改編訴訟最高裁判決——

村田尚紀…… 6 (103)

翻訳

イエーリング『ローマ法の精神・第四七C章』(一)

岡徹…… 2 (117)

アルビン・エーザー

国際刑事司法における手続システムの問題点

——ある ICTY 元裁判官の考察——

川口浩一(共訳)…… 4 (131)
西平等

ユルゲン・バーゼドー著

「高額な訴訟費用を要する国における、

少額訴訟の実効性の確保：ドイツ保険オンブズマン」

寺川永(訳)…… 5 (137)

資料

英国国際私法判例ノート (H20—1)

本浪章市…… 1 (101)

Actio の研究 (一)

岡徹…… 2 (124)

施設見学記録(8) 京都刑務所

永田憲史…… 2 (162)

勝海舟と現代

——勝海舟先生帰山一一〇周年を前にして——

眞鍋俊二…… 4 (146)

關西大學法學論集 論文索引

二〇〇八年度・日本法社会学会学術大会ミニシンポジウム④

「法文化への学際的アプローチ——比較法文化学の構築にむけて」

(二〇〇八年五月一日, 神戸大学) 紹介

角 田 猛 之…… 4 (218)

施設見学記録(9) 阿武山学園

永 田 憲 史…… 4 (300)

政権維持問題に関する若干の覚書

眞 鍋 俊 二…… 5 (161)

書 評

中山研一著

『違法性の錯誤の実体』(二〇〇八年・成文堂)

川 口 浩 一…… 2 (167)

ニューロエシックス関連文献—

① 信原幸弘・原塑『(編著)『脳神経倫理学の展望』(二〇〇八年・勁草書房)／

② 河野哲也『暴走する脳科学 — 哲学・倫理学からの批判的検討』

(二〇〇八年・光文社)

川 口 浩 一…… 6 (122)

第59巻

論 説

号 頁

市民政治と social capital に関する試論的一考察

土 倉 莞 爾…… 1 (1)

刑法における犯罪論の現代的意義

山 中 敬 一…… 2 (1)

たばこ訴訟の論点と課題

田 中 謙…… 2 (31)

K・レーヴェンシュタインにおける「コントロール」概念

——憲法による水平的コントロールの諸相——

吉 田 栄 司…… 3・4 (1)

平和的生存権の価値と構造

——権利ニヒリズムを超えて——

村 田 尚 紀…… 3・4 (57)

- ヘイト・スピーチ規制法の違憲審査の構造
——「害悪アプローチ (harm-based approach)」から——
奈 須 祐 治…… 3・4 (79)
- 連邦主義と州際通商条項
——少数者という視点から——
辻 雄 一 郎…… 3・4 (105)
- プライバシー権の概念化にあたっての女性のイメージ
——女性を抑圧するものから、女性を解放するプライバシー権概念へ——
小 林 直 三…… 3・4 (143)
- 二〇〇九年中国保険法改正について
金 玲…… 3・4 (197)
- 呉兢撰『貞観政要』について
眞 鍋 俊 二…… 3・4 (247)
- 候補者によるウェブサイトは得票に影響を及ぼすのか
——二〇〇七年参院選データによる分析——
岡 本 哲 和
石 橋 章 市 朗…… 3・4 (279)
脇 坂 徹
- アメリカの市民像の模索
——シビック・カルチャーから多文化的市民像へ——
大津留(北川)智恵子…… 3・4 (317)
- 「落書き」と建造物・器物損壊罪の成否
佐 伯 和 也…… 3・4 (349)
- いわゆる *actio libera in causa*
——その原理的考察——
川 口 浩 一…… 3・4 (385)
- ニュージーランドにおける刑事制裁としての被害弁償
——我が国における損害賠償命令制度導入の際の議論を契機として——
永 田 憲 史…… 3・4 (405)
- 矢崎法哲学と法文化
——法理学から法文化論への展開——
角 田 猛 之…… 3・4 (451)
- バリー海事慣習法瞥見
栗 田 和 彦…… 3・4 (487)

- 米国立衛生研究所 (NIH) モデルにみる生物資源・
伝統的知識への「アクセス・利益配分」(ABS)
山名美加…… 3・4 (527)
- 組合理型団体における共同事業性の意義
——損益分配と事業の共同性の連関～仏独法を参照して——
後藤元伸…… 3・4 (557)
- 近時のわが国における遺留分制度の揺らぎ
千藤洋三…… 3・4 (605)
- 行政事件訴訟法における仮の義務付け・仮の差止め制度の研究 (一)
——仮命令制度・執行停止制度との比較の見地からする考察——
長谷川佳彦…… 5 (1)
- カナダ最高裁判決と先住民の自治
守谷賢輔…… 5 (47)
- 「決別の投票」——二〇〇七年フランス大統領選挙の考察
土倉莞爾…… 5 (1)
- フランス行政判例における結社の懲戒権 (一)
——スポーツ連盟の事例を中心として——
高作正博…… 5 (75)
- 捜査としての公道上の人のビデオ撮影・ごみの領置
——最二小決平成二〇年四月一五日刑集六二卷五号一三九八頁を素材として——
松代剛枝…… 6 (1)
- 行政事件訴訟法における仮の義務付け・仮の差止め制度の研究 (二)
——仮命令制度・執行停止制度との比較の見地からする考察——
長谷川佳彦…… 6 (24)
- 売主の適合物引渡義務と瑕疵担保責任
——フランス法における二元的構成——
下田由紀…… 6 (63)
- 釧路湿原をめぐる法システムと今後の法制的課題
田中謙…… 6 (1)

研究ノート

オーストラリア領ノーフォーク島の刑事司法

永田憲史…… 5 (80)

翻訳

ピエール＝ブリュネ

『憲法裁判官は裁判官か？

——憲法解釈の特性の批判的検証——』

村田尚紀(訳)…… 1 (72)

ミヒャエル・パヴリック

『テロリストとその法(権利)』(一)

川口浩一(監訳)…… 1 (87)
小島秀夫(訳)

クルト・ゼールマン

『法哲学』(第四版・二〇〇七年)(一)

竹下賢(監訳)
川口浩一…… 2 (88)
森永真綱(訳)
小島秀夫

Lukas Handschin 著

スイス会社法における危険に対する構えとしての自己資本

(Das Eigenkapital als Risikoreserve)

福瀧博之(訳)…… 5 (88)

クルト・ゼールマン

『法哲学』(第四版・二〇〇七年)(二)

竹下賢(監訳)
川口浩一…… 5 (111)
赤岩順二(訳)
飯島暢

ミヒャエル・パヴリック

『テロリストとその法(権利)』(二)

川口浩一(監訳)…… 5 (161)
小島秀夫(訳)

趙炳宣

韓国の国民参与裁判制度の1年半の状況とその評価

山名京子(訳)…… 5 (90)
金玲

ミヒャエル・パヴリック

『テロリストとその法(権利)』(三)

川口浩一(監訳)…… 6 (86)
赤岩順二(訳)

資 料

吳訥撰・若山拯訓読『祥刑要覽』の訳注（一）	佐 立 治 人…… 1 （ 99 ）
最高裁において永山事件第一次上告審判決以降に 確定した死刑判決一覧（裁判集刑二九二号まで）	永 田 憲 史…… 1 （ 109 ）
最高裁において第二次世界大戦後に犯行当時少年の 被告人に対して確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史…… 2 （ 144 ）
ローマ法における不可分な obligatio（一）	岡 徹…… 5 （ 178 ）
政治的神話空間の崩壊について ——第四五回衆議院議員総選挙の結果に関する若干の覚書——	眞 鍋 俊 二…… 5 （ 209 ）
施設見学記録(10) 姫路少年刑務所	永 田 憲 史…… 5 （ 247 ）
最高裁において平成二十年に確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史…… 6 （ 100 ）
施設見学記録(11) 交野女子学院	永 田 憲 史…… 6 （ 106 ）

紹 介

呂坤撰『呻吟語』について	眞 鍋 俊 二…… 1 （ 141 ）
ハンス・ユーリウス・ヴォルフ著 『アッティカのパラグラペー』（一）	岡 徹…… 5 （ 254 ）

第60巻

論 説

	号	頁
受託保証人の破産 ——求償権とこれを被担保債権とする抵当権について——	栗 田 隆……	1 (1)
K. レーヴェンシュタインにおける「コントロール」概念 ——憲法による垂直的コントロールの諸相——	吉 田 栄 司……	1 (23)
投票意思決定とインターネット利用 ——2007年参院選における候補者ウェブサイト接触者を対象とした分析——	岡 本 哲 和 石 橋 章 市 朗……	1 (58)
司法制度改革とアイディアの政治 (1) ——司法試験制度改革を中心に——	脇 坂 徹	
	小 倉 慶 久……	1 (102)
イタリア政治史におけるカトリシズム試論	土 倉 莞 爾……	2 (1)
被保証債権者優先の視点から見た破産手続開始時現存額主義	栗 田 隆……	2 (35)
司法制度改革とアイディアの政治 (2 ・ 完) ——司法試験制度改革を中心に——	小 倉 慶 久……	2 (62)
更生保護法は保護観察の特別遵守事項の独立の刑事制裁化を促進するか ——ニュージーランドの交際禁止命令を素材に——	永 田 憲 史……	2 (1)
2005年フランスにおける EU 憲法条約国民投票の否決の意味	土 倉 莞 爾……	3 (1)
主債務者の破産と保証人の求償権 ——受託保証人の事前求償権と無委託保証人の事後求償権を中心にして——	栗 田 隆……	3 (45)

日本破産法における支払不能概念とタイ破産法における支払可能概念との比較 ——支払不能が破産手続開始原因であることと 支払可能が破産訴訟棄却事由であることとの相違点——	ナバット ソラアット…… 4 (1)
刑事製造物責任論における作為義務の根拠	山 中 敬 一…… 5 (1)
負担部分のある全部義務者の求償権と被代位債権 ——弁済者の共同義務者について倒産手続が開始された場合の取扱い——	栗 田 隆…… 5 (74)
竹島の帰属に関する一考察	中 野 徹 也…… 5 (103)
民事責任と社会秩序 (1) ——社会思想からみた19世紀フランスにおける民事責任の変遷——	今 野 正 規…… 5 (135)
受託保証人の破産 ——保証委託者の損害賠償請求権と債権者の損害賠償請求権と保証債権——	栗 田 隆…… 6 (1)
公共空間におけるマイノリティの自由 ——いわゆるブルカ禁止法をめぐる——	村 田 尚 紀…… 6 (21)
研究ノート	
知る権利の構造と弁証 ——権利フェティシズムを超えて——	村 田 尚 紀…… 1 (160)
現代アメリカ問題の一考察 (一) ——G・W・ブッシュ政権の外交政策を中心として——	眞 鍋 俊 二…… 2 (24)
政党組織をめぐる理念と現実 ——55年体制初期の社会党と組織問題—— (1)	森 本 哲 郎…… 3 (79)

手形行為の性質

——福岡高判平成一九年二月二二日 判時一九七二号一五八頁を契機に——

福 瀧 博 之…… 3 (1)

現代アメリカ問題の一考察 (二)

——G・W・ブッシュ政権の外交政策を中心として——

眞 鍋 俊 二…… 3 (34)

政党組織をめぐる理念と現実

——55年体制初期の社会党と組織問題—— (2・完)

森 本 哲 郎…… 4 (19)

判例批評

地方自治法施行令による地方議会議員解職請求代表者資格制限の違法性

——東洋町議リコール署名最高裁大法廷判決——

村 田 尚 紀…… 6 (51)

判例研究

大阪府市町村職員互助会退会給付金事件 (高槻市)

(最一小判平成二二年三月二五日 判時二〇八一号三頁, 判タ一三二三号八二頁)

長 谷 川 佳 彦…… 6 (1)

翻 訳

クルト・ゼールマン

『法哲学』(第四版・二〇〇七年)(三)

竹下 賢(監訳)
川口浩一(監訳)…… 1 (1)
森永真綱(訳)
岡上雅美(訳)

ミヒヤエル・パヴリック

『テロリストとその法(権利)』(四・完)

川口浩一(監訳)…… 1 (39)
森永真綱(訳)

クルト・ゼールマン 『法哲学』（第四版・二〇〇七年）（四）	竹下 賢(監訳) 川口浩一(監訳)…… 2 (95) 岡上 雅美(訳) 松生 光正(訳)
Claus Roxin 未必の故意について	葛原力三(訳)…… 4 (39)
ヌリ・ユルデゥセフ 「トルコとヨーロッパの交流——相互の巧みな処遇・交流の歴史」	角田 猛之(訳)…… 4 (53)
クルト・ゼールマン 『法哲学』（第四版・二〇〇七年）（五）	竹下 賢(監訳) 川口浩一(監訳)…… 4 (1) 松生 光正(訳)
クルト・ゼールマン 『法哲学』（第四版・二〇〇七年）（六）	竹下 賢(監訳) 川口浩一(監訳)…… 5 (1) 森永真綱(訳)
量刑の実務(一) Schäfer / Sander / van Gemmeren	葛原力三(監訳) 岡上 雅美(訳)…… 6 (62) 中村 悠人(訳)
クルト・ゼールマン 『法哲学』（第四版・二〇〇七年）（七・完）	竹下 賢(監訳) 川口浩一(監訳) 森永真綱(訳)…… 6 (14) 杉本 一敏(訳) 中空 壽雅(訳) 飯島 暢(訳)
資 料	
施設見学記録(12) 京都少年鑑別所	永田 憲史…… 1 (54)

ローマ法における不可分な obligatio (二)	岡 徹…… 2 (136)
施設見学記録(13) 弘済のぞみ園	永 田 憲 史…… 3 (86)
国際シンポジウム「転換期の日本と EU——グローバル世界における法改革」 (於 ルーヴェンカトリック大学)・紹介と裁判員制度発足直後の 運用状況と世論動向の若干の分析	角 田 猛 之…… 4 (100)
二宮尊徳と現代 ——二宮尊徳先生の実践思想に関する一考察——	眞 鍋 俊 二…… 4 (23)
施設見学記録(14) 加古川刑務所	永 田 憲 史…… 4 (80)
施設見学記録(15) 奈良少年院	永 田 憲 史…… 5 (24)
大型放射光施設 (SPring-8) 見学記録	永 田 憲 史…… 6 (157)
最高裁において平成二一年に確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史…… 6 (59)
書 評	
阿部泰隆著 『行政法解釈学Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣, 2008年, 2009年)	田 中 謙…… 5 (177)
紹 介	
サヴィニー 『中世におけるローマ法の歴史・第三〇章』(一)	岡 徹…… 1 (60)
サヴィニー 『中世におけるローマ法の歴史・第三八章』(一)	岡 徹…… 2 (155)

ピッサール

『ローマ法における先決問題』(一)

岡 徹…… 6 (68)

第61巻

論 説

号 頁

「相続させる」旨の遺言と代襲相続

千 藤 洋 三…… 1 (1)

武力紛争時における環境保護に関する国際規範の形成

——ENMOD、第一追加議定書における環境保護関連規定を中心に——

権 南 希…… 1 (71)

国家による戦争賠償請求権の放棄

——その制限可能性——

田 村 恵 理 子…… 1 (123)

現代日本における政権交代論の個人的考察

土 倉 莞 爾…… 2 (1)

国会議員とインターネット

——議員サーベイ調査を用いた分析——

岡 本 哲 和
石 橋 章 市 朗…… 2 (46)
脇 坂 徹

民事責任と社会秩序 (2 ・ 完)

——社会思想からみた19世紀フランスにおける民事責任の変遷——

今 野 正 規…… 2 (89)

クヤキウスとアフリカーヌスとユリアーヌス (一)

岡 徹…… 2 (1)

あぶくの告発

——前夫を殺した後夫を妻が訴えた話——

佐 立 治 人…… 2 (27)

フィリップ・ペティットの共和主義論

——政治的自律と異議申し立て——

中 村 隆 志…… 2 (59)

医事刑法の序論的考察（1）	山 中 敬 一…… 3（1）
2009年トルコ国籍法改正について	佐 藤 や よ ひ…… 3（35）
クヤキウスの Observaciones et Emendationes について（一）	岡 徹…… 3（1）
クヤキウスとアフリカーヌスとユーリアヌス（二）	岡 徹…… 3（31）
キリスト教民主主義の全盛と衰退 ——第2次大戦後以降の比較政治史的考察——	土 倉 莞 爾…… 4（1）
医事刑法の序論的考察（2・完）	山 中 敬 一…… 4（36）
破産法57条・60条の破産債権と相殺制限	栗 田 隆…… 4（89）
インターネット利用の解禁は日本の選挙を変えるのか ——実証分析に基づく予想——	岡 本 哲 和…… 4（120）
医療侵襲に対する患者の同意	山 中 敬 一…… 5（1）
1905年日本による竹島領土編入措置の法的性質	中 野 徹 也…… 5（113）
武力紛争による環境損害の賠償メカニズムの制度化 ——国連補償委員会における環境損害請求の特徴を中心に——	権 南 希…… 5（167）
罰金刑の適用領域拡大に向けた罰金刑に関する前科の封印 ——ニュージーランドの2004年刑事記録（封印）法を素材に——	永 田 憲 史…… 5（1）
医師の説明義務（1）	山 中 敬 一…… 6（1）
開発法学における「法の支配」の位相	安 田 信 之…… 6（52）

たばこ規制の法システムと今後の法制的課題 (1)

田 中 謙…… 6 (133)

市民政治の創造

——市民社会を基底にして——

寺 島 俊 穂…… 6 (1)

大行院文書からみた「鳴物停止令」

——大行院文書「解題」にかえて——

朝 比 奈 修…… 6 (54)

研究ノート

南洋群島の刑事司法制度

永 田 憲 史…… 4 (1)

判例研究

第一審で死刑が言渡されたものの、控訴審で破棄されて
無期懲役が言渡された事件に対し、検察官が死刑選択
基準に関する判例違反を主張して上告した事例
(最決平21年1月14日判タ1295号188頁)

永 田 憲 史…… 3 (54)

翻 訳

崔卓蘭ほか著

「中国における行政の内部的統制について」

孝 忠 延 夫(訳)…… 1 (148)

量 刑 の 実 務 (二)

Schäfer / Sander / van Gemmeren

葛原力三(監訳)
金 子 博(訳)…… 2 (138)
飯 島 暢(訳)

ジョージ・ムスラキス

「ニュージーランドにおける修復的司法会議——理論の基礎と
実践の意味」および「ニュージーランドにおける法学教育」

角 田 猛 之(訳)…… 2 (206)

金 宰中

韓国における違法収集証拠排除法則

権 南希(訳)…… 2 (286)

クルト・ゼールマン

「ヘーゲル『法哲学要綱』における刑罰論」

——ドイツの哲学的刑法論に関する重要文献(1)——

飯島 暢(監訳)
川口浩一(監訳)…… 3 (89)
中村悠人(訳)

量 刑 の 実 務 (三)

Schäfer / Sander / van Gemmeren

葛原力三(監訳)
飯島 暢(訳)…… 4 (154)
岡上雅美(訳)

資 料

施設見学記録(16) 大阪刑務所

永 田 憲 史…… 1 (1)

中華人民共和国涉外民事関係法律適用法

〔涉外民事関係系法律適用法〕

村上幸隆(訳)…… 2 (316)

施設見学記録(17) 丸亀少女の家

永 田 憲 史…… 2 (91)

ハンセン病患者・回復者及びその家族に対する
差別撤廃のための原則及びガイドライン

坂 元 茂 樹…… 3 (116)

1964年トルコ国籍法

佐 藤 や よ ひ…… 4 (249)

嘉納治五郎師範の功業について

——嘉納治五郎先生生誕一五〇周年を契機とする若干の覚書——

眞 鍋 俊 二…… 6 (150)

最高裁において平成二二年に確定した死刑判決一覧

(付・裁判員裁判において平成二二年に言渡された死刑判決一覧)

永 田 憲 史…… 6 (184)

第62巻

論 説	号 頁
医師の説明義務（2・完）	山 中 敬 一…… 1 （ 1 ）
ベトナム知的財産制度の課題 ——JICA ベトナム知的財産法コース「総括」——	辰 巳 直 彦…… 1 （ 62 ）
たばこ規制の法システムと今後の法制的課題（2）	田 中 謙…… 1 （ 92 ）
ゆく人来る人 ——唐儀制令行路条の「去避来」について——	佐 立 治 人…… 1 （ 1 ）
「橋下旋風」小考 ——2011年11月「大阪ダブル選挙」の問題点——	土 倉 莞 爾…… 2 （ 1 ）
医療過誤と客観的帰属 ——医療水準論を中心に——	山 中 敬 一…… 2 （ 64 ）
憲法の私人間効力の射程（1）	西 村 枝 美…… 2 （ 159 ）
ウェブサイトへのアクセスと 投票意思決定行動との関連 ——2010年参院選有権者調査データを用いた分析——	岡 本 哲 和 石 橋 章 市 朗…… 2 （ 189 ） 脇 坂 徹
売却処分と不当利得返還請求権の内容	多 治 川 卓 朗…… 2 （ 214 ）
刑事手続外の調査における自己負罪拒否特権の 保障と刑事手続における証拠使用の制限（1） ——イギリスの動向を題材に——	中 島 洋 樹…… 2 （ 260 ）
クヤキウスの訴権競合理論について（一）	岡 徹…… 2 （ 1 ）

ローマ法の訴権競合についての一考察（一）	岡 徹…… 2（7）
医療過誤と刑事組織過失（1）	山 中 敬 一…… 3（1）
管理信託の終了と受託者が追行中の訴訟 ——音楽の著作権管理信託を例にして——	栗 田 隆…… 3（72）
憲法の私人間効力の射程（2）	西 村 枝 美…… 3（125）
たばこ規制の法システムと 今後の法制的課題（3・完）	田 中 謙…… 3（174）
大阪ダブル選挙の分析 ——有権者の選択と大阪維新の会支持基盤の解明——	善 教 将 大 石 橋 章 市 朗…… 3（247） 坂 本 治 也
裁判員制度の誕生（1） ——アジェンダ・セッティングと政策形成——	小 倉 慶 久…… 3（345）
ドイツ法における『連帯付加税』の考え方 ——復興特別所得税・復興特別法人税との関連で——	村 井 正……4・5（1）
ドイツにおける社会権の法的性質と審査基準	西 村 枝 美……4・5（23）
申請満足型義務付け訴訟および併合提起された 取消訴訟における裁量処分の司法審査 ——請求認容判例を対象として——	由 喜 門 眞 治……4・5（77）
「公共圏」をめぐる「公」と「私」 ——表現の「場」におけるプライバシーの意義と限界——	高 作 正 博……4・5（117）
パターンリズムに基づくたばこ規制の必要性	田 中 謙……4・5（145）

- 市町村営水道の限界と広域化・覚書
荒 木 修……4・5 (181)
- EU 付加価値税の動向
——保険取引を中心に——
辻 美 枝……4・5 (211)
- オーストリア立憲主義の展開
——厳しい時代的潮流の中で (1848年～1934年) ——
奥 正 嗣……4・5 (245)
- インドにおける公益訴訟の展開と課題
——第三世代の公益訴訟を中心に——
浅 野 宜 之……4・5 (297)
- 先住民の『土地権 (aboriginal title)』および条約上の
権利をめぐる近年のカナダ憲法判例の一つの動向
——先住民と協議し便宜を図る義務について——
守 谷 賢 輔……4・5 (325)
- 日本の裁判員裁判制度と民主主義
竹 下 賢……4・5 (387)
- ドイツ解雇法における再雇用請求権の法理
藤 原 稔 弘……4・5 (407)
- メッシーナ海法序説
栗 田 和 彦……4・5 (463)
- 文書提出命令の機能の拡張
——文書作成命令等を含む提出命令と
訴訟係属前の提出命令——
栗 田 隆……4・5 (553)
- 特許請求の範囲における発明の特定と特許発明の技術的範囲の確定
辰 巳 直 彦……4・5 (593)
- 模倣と利他
——スピノザ『エチカ』に利他的行為は存在するのか——
河 村 厚……4・5 (689)
- 個人情報保護制度の基礎としてのプライバシー権概念に関する考察
小 林 直 三……4・5 (I)

最高裁において昭和四〇年代に確定した死刑判決の動向	永田憲史……4・5 (35)
ヘルモゲニアースと訴権競合問題	岡徹……4・5 (65)
既判力標準時後の形成権行使	越山和広……4・5 (107)
冷戦から冷戦後へのフランス・キリスト教民主主義 ——MRP から UDF へ——	土倉莞爾……6 (1)
医療過誤の諸類型と刑事過失 ——判例の分析を中心に——	山中敬一……6 (53)
憲法の私人間効力の射程(3)	西村枝美……6 (167)
民法94条2項における本来適用と類推適用の二元的構成の可能性(1) ——最高裁平成18年2月23日判決の残した課題——	多治川卓朗……6 (192)
環境法学における基礎理論的考察 ——公のゆがみと環境権——	水野吉章……6 (223)
裁判員制度の誕生(2・完) ——アジェンダ・セッティングと政策形成——	小倉慶久……6 (272)
研究ノート	
「多選市長」再訪 ——ポスト多選市長の選挙過程——	森本哲郎……3 (385)
判例研究	
求償権者が代位取得した原債権の財団債権性・共益債権性	栗田隆……1 (148)

第一審で無期懲役が言渡され、控訴審で無期懲役が維持された事件に対し、検察官が死刑選択基準に関する判例違反を主張して上告した事例
(最決平21年12月17日裁判集刑299号1275頁)

永田 憲史…… 1 (34)

罪数と一事不再理効

——最二小決平成22年2月17日裁判集刑300号71頁を素材として——

松代 剛枝…… 2 (294)

無委託保証人が主債務者の破産手続開始後に保証債務を履行したことによる求償権の破産債権性と相殺制限

栗田 隆…… 6 (306)

翻 訳

エルンスト・アマデウス・ヴォルフ

「一般予防についての最近の理解と犯罪への応答に関するその適格性」(1)

飯島 暢
川口 浩一…… 3 (413)
中村 悠人

エルンスト・アマデウス・ヴォルフ

「一般予防についての最近の理解と犯罪への応答に関するその適格性」(2・完)

——ドイツの哲学的刑法論に関する重要文献(2)——

飯島 暢
川口 浩一…… 6 (326)
中村 悠人

ライナー・ツァツィック

体系的な刑法の必然性

——更に、「断片的な刑法」の概念について——

飯島 暢…… 6 (357)

資 料

私立大学の新たな使命について

——私学国庫助成の理論的根拠を想起しつつ——

眞鍋 俊二…… 1 (50)

施設見学記録(18) 有明高原寮

永田 憲史…… 1 (76)

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と 政治意識に関する調査の概要	善 教 将 大 石 橋 章 市 朗…… 2 (316) 坂 本 治 也
韓国における国際的な子の奪取の民事上の側面に 関する条約の履行に関する法律(案)並びに 条約加入及び法律制定に関する公聴会資料	権 南 希…… 2 (389)
民主党(DPJ)政権の歴史的役割について ——中間的一考察——	眞 鍋 俊 二…… 2 (33)
施設見学記録(19) 若葉学園	永 田 憲 史…… 2 (78)
2011年10月25日の消費者の権利に関する 欧州議会及び理事会指令	寺 川 永 馬 場 圭 太…… 3 (436) 原 田 昌 和
日米関係及び日中関係について ——中華人民共和国・山東大学法学院における講演——	眞 鍋 俊 二…… 3 (1)
最高裁において昭和四〇年代に確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史…… 3 (28)
最高裁において平成二三年に確定した死刑判決一覧 (付・裁判員裁判において平成二三年に言渡された死刑判決一覧)	永 田 憲 史…… 6 (1)
第63巻	
論 説	
	号 頁
医療過誤と刑事組織過失(2・完)	山 中 敬 一…… 1 (1)
憲法の私人間効力の射程(4)	西 村 枝 美…… 1 (98)
民事責任とミシェル・フーコーの仮説	今 野 正 規…… 1 (119)

フランス保険法における <i>faute dolosive</i> (1)	松田真治…… 1 (153)
身体・死体に対する侵襲の刑法上の意義(1)	山中敬一…… 2 (1)
憲法の私人間効力の射程(5)	西村枝美…… 2 (50)
日本における生活保障システムの現状と課題 ——福祉国家論・福祉レジーム論とジェンダー論を手がかりに——	廣川嘉裕…… 2 (68)
フランス保険法における <i>faute dolosive</i> (2・完)	松田真治…… 2 (98)
サヴィニーの De concursu delictorum formali について(一)	岡 徹…… 2 (1)
Obligatio と Actio (一)	岡 徹…… 2 (15)
社会党の政権奪還 ——2012年フランス大統領選挙・総選挙の考察——	土倉莞爾…… 3 (1)
身体・死体に対する侵襲の刑法上の意義(2)	山中敬一…… 3 (44)
ドイツにおける裁判権の概念(1) ——日本の司法権と基本法92条の裁判権との対比——	西村枝美…… 3 (96)
「モーセという男とポピュリズム」 ——「体制の機能としてのリーダーシップ」についての 一考察：アーロン・ウィルダフスキー、ジークムント・ フロイトのモーセ五書解釈を手がかりに——	木村祐治…… 3 (125)
非国際的武力紛争における戦闘の方法及び手段に関する規則	上地 瑠美子…… 3 (177)
焼けたのは生前か死後か ——その鑑別方法の発見——	佐立治人…… 3 (1)

『世界』における清水幾太郎と社会学 ——戦後日本のジャーナリズムと知識人——	土 倉 莞 爾…… 4 (1)
身体・死体に対する侵襲の刑法上の意義 (3・完)	山 中 敬 一…… 4 (37)
破産手続における不足額責任主義の拡張	栗 田 隆…… 4 (104)
議会政の可能性 ——インドの国会を手がかりとして——	孝 忠 延 夫…… 4 (161)
ドイツにおける裁判権の概念 (2) ——日本の司法権と基本法92条の裁判権との対比——	西 村 枝 美…… 4 (190)
経営判断の原則の実質的根拠 ——経営判断の原則は団体法に普遍的な制度か——	福 瀧 博 之…… 4 (1)
2013年参議院選挙と現代日本の 政治状況に関する一考察	土 倉 莞 爾…… 5 (1)
フランスにおけるグローバル化と民主主義	村 田 尚 紀…… 5 (42)
ドイツにおける裁判権の概念 (3) ——日本の司法権と基本法92条の裁判権との対比——	西 村 枝 美…… 5 (71)
ネットはだれに影響を与えたか ——2011年大阪市長選の分析——	岡 本 哲 和 石 橋 章 市 朗…… 5 (105) 脇 坂 徹
生活と政治の関係を認識することは 政治への関心を高めるか ——高校生の政治意識の分析——	石 橋 章 市 朗…… 5 (131)
A級戦犯の死刑執行手順書	永 田 憲 史…… 5 (163)

カンボジアにおける代替的紛争解決 ——仲裁評議会による労働紛争の解決——	木村光豪……	5 (186)
サヴィニーの De concursu delictorum formali について (二)	岡徹……	5 (1)
ローマ法の訴権競合についての一考察 (二)	岡徹……	5 (15)
市民的抵抗の哲学 ——久野収の思想から——	寺島俊穂……	5 (31)
開始時現存額主義と配当時現存額主義 (不足額主義) ——破産手続中における配当財団以外の財産からの 満足を破産配当においてどのように考慮すべきか——	栗田隆……	6 (1)
類似事実立証について ——最高裁平成24年9月7日判決／同平成25年2月20日決定と英米法の論理——	松代剛枝……	6 (48)
憲法の私人間効力の射程 (6)	西村枝美……	6 (73)
「非喫煙者の権利」は、「喫煙の自由」の 内在的制約を顕在化させたものである	田中謙……	6 (103)
ドイツにおける売春規制 ——土地利用規制を中心に——	荒木修……	6 (130)
破産手続における電子マネーの取扱いに関する一考察	尾島史賢……	6 (184)
カンボジア王国憲法の人権規定 ——起草過程に影響を与えた諸要因と規定の特徴——	木村光豪……	6 (197)
サヴィニーの De concursu delictorum formali について (三)	岡徹……	6 (1)

判例研究

裁判所の調査嘱託に応ずる義務と義務違反の
効果及び義務確認の訴えの適法性

栗田 隆…… 2 (139)

いわゆる不公正ファイナンスと偽計
——ペイントハウス事件——

上田 真二…… 2 (166)

第一審で死刑が言渡されたものの、控訴審で破棄さ
れて無期懲役が言渡された事件に対し、検察官が
死刑選択基準に関する判例違反を主張して上告し
たところ、一名の裁判官が刑法四一条二号に
よる破棄を相当とする反対意見を述べた事例
(最決平二三年一二月二日判時二一四四号一五三頁)

永田 憲史…… 4 (83)

翻 訳

ミヒヤエル・パヴリック
『市民の不法』(1)

飯島 暢…… 2 (179)
川口 浩一

ミヒヤエル・パヴリック
『『総則の解釈論における最も暗黒の章』
——保障人義務についての覚え書き』

川口 浩一…… 2 (298)
山下 裕樹

コンスタンタン＝ランギエイユ
『法の論理、政治の論理——ブルカのケース』

村田 尚紀…… 3 (198)

フェリックス・シュテフェック
『メディアーションと和解裁判官手続をめぐる
法律問題——比較法と法事実映し出された
法の適用とその規制』

寺川 永…… 3 (214)

ミヒヤエル・クビチエール
『ソフトウェア作成者に対する可罰性のリスク
——幫助行為としてのファイル交換ソフトの
プログラミング——』(wistra 2012, 453-456)

川口 浩一…… 4 (209)
森川 智晶

ミヒャエル・パヴリック 『市民の不法』(2)	飯 島 暢 川 口 浩 一……	4 (223)
ミヒャエル・パヴリック 『市民の不法』(3)	飯 島 暢 川 口 浩 一…… 中 村 悠 人 安 達 光 治	5 (231)
ヨハン・ルートヴィヒ・カスペル 「棺内分娩——二年四ヶ月後の発掘 —— 殺人か自殺か？」	佐 立 治 人……	6 (247)
ミヒャエル・パヴリック 「ジャン・ジャック・ルソーの政治哲学に対するヘーゲルの批判」	川 口 浩 一…… 山 下 裕 樹	6 (261)
ミヒャエル・パヴリック 『市民の不法』(4)	飯 島 暢 川 口 浩 一…… 安 達 光 治	6 (287)
資 料		
中国裁判逸話集(北宋太祖朝篇)	佐 立 治 人……	1 (1)
施設見学記録(20) 和歌山刑務所	永 田 憲 史……	1 (32)
東京高裁第3特別部の裁判官構成	横 田 直 和……	2 (316)
施設見学記録(21) 国児学園	永 田 憲 史……	2 (31)
施設見学記録(22) 和泉学園	永 田 憲 史……	3 (21)
中国裁判逸話集(北宋太宗朝篇)	佐 立 治 人……	5 (97)

ロンドン大学東洋アフリカ学院ロースクールにおける 「アジア・アフリカの法体系」講義（2011-2012年）の紹介 ——ヴェルナー・メンスキー教授の講義資料を中心にして——	角 田 猛 之…… 6	(310)
---	-------------	---------

死刑執行始末書 56 件の紹介 ——1947年7月～1949年12月——	永 田 憲 史…… 6	(480)
---	-------------	---------

第64巻

論 説	号	頁
「フロイトとスピノザ」(I)	河 村 厚…… 1	(1)
サヴィニーの De concursu delictorum formali について(四)	岡 徹…… 1	(1)
アベ・ルミールとフランス・キリスト教民主主義	土 倉 莞 爾…… 2	(1)
もう一つの“ネット選挙” ——2012年衆院選および2013年参院選における 選挙公報のインターネット掲載——	岡 本 哲 和…… 2	(25)
白地刑罰法規の錯誤における事実の 錯誤と違法性の錯誤の区別	川 口 浩 一…… 2	(46)
フロイトとスピノザ(II)	河 村 厚…… 2	(66)
カンボジア政府による国際人権法への対応 ——政府報告書審査に見る人権観を中心に——	木 村 光 豪…… 2	(100)
親権者の「刑法的」作為義務	山 下 裕 樹…… 2	(137)

- 聴断は法を以てし、調処は情を以てす
——清代の民事裁判の性格についての滋賀・寺田説に対する反論——
佐 立 治 人…… 2 (1)
- 法治主義の諸相と日本の位相
竹 下 賢…… 3・4 (1)
- 現代議政と国政調査権
孝 忠 延 夫…… 3・4 (19)
- 死刑の執行方法と立法不作為の憲法論
高 作 正 博…… 3・4 (69)
- 続・メッシーナ海法序説
——メッシーナ海事評議員条項素描——
栗 田 和 彦…… 3・4 (93)
- 「安保改定阻止闘争」後の清水幾太郎
——戦後日本の知識人とジャーナリズムに関する一考察——
土 倉 莞 爾…… 3・4 (199)
- 人類の伝統的価値観と人権
——人権理事会諮問委員会で起草された研究報告書の批判的分析——
木 村 光 豪…… 3・4 (231)
- 訴権競合の事例の研究
岡 徹…… 3・4 (1)
- 「御仕置例類集」に見る親族間の犯罪
市 川 訓 敏…… 3・4 (53)
- 「権利」の古典的意味と近代的意味
——土井本周易抄「私一権利ハ爵ゾ」を手がかりに——
市 原 靖 久…… 3・4 (123)
- 永山基準の定立に向けた道程
——最高裁において昭和五〇年代に確定した死刑判決の動向——
永 田 憲 史…… 3・4 (159)
- 2014年フランス統一地方選挙と EU 議会選挙における FN の躍進
土 倉 莞 爾…… 5 (1)
- ドイツにおける EU 消費者権利指令の国内法化
寺 川 永…… 5 (37)

人権の文化多元主義的アプローチの可能性

——人権のヴァナキュラー理論を中心に——

木村光豪…… 5 (93)

経営判断の原則についての覚書

——ドイツ法における法解釈学的な位置付け——

福瀧博之…… 5 (1)

ネット選挙解禁の効果を検証する

——2013年参院選での投票意思決定に対する影響の分析——

岡本哲和
石橋章市朗…… 6 (1)
脇坂徹

保険税の法的分析

——ドイツおよび英国の制度を中心に——

辻美枝…… 6 (23)

移行期のカンボジアにおける戦略的な人権のヴァナキュラー化

——ローカル人権 NGO による仏教を媒介とした人権教育を中心に——

木村光豪…… 6 (55)

研究ノート

明治の先哲・内村鑑三先生について

——内村鑑三先生生誕一五〇周年を契機として——

眞鍋俊二…… 1 (14)

1980年～1996年の社会党における組織問題

——理念と現実——

森本哲郎…… 5 (130)

腹上死について

佐立治人…… 5 (53)

移民によるエスニック・インプラントと法のクレオール

——超多様な都市・ロンドンを手がかりにして

角田猛之…… 6 (94)

翻訳

人類の伝統的価値観と人権

角田猛之
市原靖久…… 1 (28)
木村光豪

シュテファン・シック「統制的理念としての
敵刑法 (Feindstrafrecht als regulative Idee)」
——ドイツの哲学的刑法論に関する重要文献(3)——

飯 島 暢
川 口 浩 一
山 下 裕 樹
森 川 智 晶
…………… 2 (197)

ミヒヤエル・パヴリック
『市民の不法』(5)

飯 島 暢
川 口 浩 一
安 達 光 治
森 永 真 綱
…………… 2 (233)

ミヒヤエル・パヴリック
『市民の不法』(6)

飯 島 暢
川 口 浩 一
森 永 真 綱
山 下 裕 樹
…………… 5 (202)

文化的権利の分野における国連・特別報告者の報告書

角 田 猛 之
木 村 光 豪
…………… 6 (127)

資 料

宋朝の立法・刑罰・裁判

佐 立 治 人…………… 1 (81)

デヴィッド・グリーンリントンの「進化、適応と創造
——変動する世界での自然資源に対する所有権」
(Evolution, Adaptation, and Invention: Property Rights in
Natural Resources in a Changing World) 論文の翻訳と
講義・講演資料、およびオークランド大学ロースクールの紹介

角 田 猛 之…………… 1 (113)

最高裁において平成二四年に確定した死刑判決一覧

永 田 憲 史…………… 1 (75)

TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) と日本農政
——我が国の議論における若干の特徴について——

眞 鍋 俊 二
内 田 龍 之 介…………… 2 (267)

マオリの環境思想と持続可能な自然環境, マオリ固有地の保全 ——ニン・トマス「マオリのランガティラタンガ, カイティアキタンガの概念と 自然環境, 所有権」論文およびマオリ土地裁判所刊行のブックレットの翻訳	角 田 猛 之…… 2 (310)
ロンドン特別区・タワーハムレッツでの「コミュニティ・ リーダーシップ・プログラム」の紹介 ——ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) との連携での 超多元社会 (plurality of pluralities: POP) への取り組み	角 田 猛 之…… 2 (411)
最高裁において永山事件第一次上告審判決前の 昭和五〇年代に確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史…… 2 (24)
独日における医師の説明義務の範囲と刑事責任	山 中 敬 一 ヤン・C・イエルデン…… 5 (246) 山 中 友 理 木 村 武 量
法文化のフロンティア・千葉正士 ——千葉正士先生追悼プロジェクト(1)——	角 田 猛 之…… 5 (276)
第23回 IVR (法哲学・社会哲学国際学会連合) 世界大会 「二一世紀における法と法文化——多様性と統一性」(2007年 8月1—6日, ポーランド・ヤゲェヴォ大学) 紹介 (2・完)	角 田 猛 之…… 5 (336)
ドイツ債務法現代化の経験(1) ——日本民法改正への示唆を得るために——	中 田 邦 博 寺 川 永…… 5 (381) カライスコス・アントニオス 右 近 潤 一
離島の将来構想に関する一考察	眞 鍋 俊 二…… 5 (58)
施設見学記録 (平成二四年分)	永 田 憲 史…… 5 (90)
遼朝の立法・刑罰・裁判	佐 立 治 人…… 6 (190)

法文化のフロンティア・千葉正士 ——千葉正士先生追悼プロジェクト(2)——	角 田 猛 之……	6 (198)
ドイツ債務法現代化の経験(2・完) ——日本民法改正への示唆を得るために——	中 田 邦 博 寺 川 永 カライスコス・アントニオス 右 近 潤 一	6 (258)
大学教育と職業教育の統合について ——法学・政治学・政策学系学部における教育実践から——	眞 鍋 俊 二……	6 (1)
最高裁において平成二五年に確定した死刑判決一覧	永 田 憲 史……	6 (29)

第65巻

論 説		号 頁
破産法と双務契約・片務契約の終了 ——破産手続開始前に解除された 双務契約及び使用貸借契約を中心にして——	栗 田 隆……	1 (1)
古典的国際法学との対照における国際政治学的思考の特質	西 平 等……	2 (1)
カンボジアにおけるヴァナキュラーな人権 ——仏教的価値観に内在する人権の機能的等価物——	木 村 光 豪……	2 (30)
パスカル・ペリノーのフランス FN (国民戦線) 論	土 倉 莞 爾……	3 (1)
鏡の国の商業登記	早 川 徹……	3 (46)
アメリカの難民政策の変遷	大津留(北川)智恵子……	3 (73)
動態的国際法秩序への解釈論的視座(1) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西 平 等……	3 (112)

カンボジアにおける移行期正義の実現に向けた挑戦 ——カンボジア特別法廷を手がかりとして——	木村光豪…… 3 (138)
過小包撰な規制と厳格審査の基準の下での目的審査のあり方について ——EMA 事件判決におけるスカルリア裁判官法廷意見を素材として——	金原宏明…… 3 (187)
旧中国の罪刑法定主義の存在について	佐立治人…… 3 (1)
「大阪都構想」問題の政治学的考察	土倉莞爾…… 4 (1)
動態的国際法秩序への解釈論的視座(2) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西平等…… 4 (60)
環境刑法総論の基本問題(1)	川口浩一…… 4 (109)
カンボジアにおける表現の自由に関する規制立法 ——刑法の名誉毀損と扇動を中心に——	木村光豪…… 4 (127)
法令は民の命なり ——『商君書』定分篇の罪刑法定主義——	佐立治人…… 4 (1)
18歳選挙権について考える	土倉莞爾…… 5 (1)
全部義務者の破産と民法改正 ——一部代位弁済の場合の原債権と求償権の規律を中心に——	栗田隆…… 5 (45)
法人学説の再定位 ——独仏法人論の再読解とミシユおよびサレイユの法人論・合有論——	後藤元伸…… 5 (136)
動態的国際法秩序への解釈論的視座(3・完) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西平等…… 5 (178)

憲法の私人間効力の射程 (7)	西村枝美…… 5 (194)
フロイトとスピノザ (Ⅲ-1)	河村厚…… 5 (268)
移行期のカンボジアにおける集会の自由の受容と変容 ——平和的集会法を中心に——	木村光豪…… 5 (294)
一日も律無かる可からず ——旧中国の罪刑法定主義の国教化——	佐立治人…… 5 (1)
『現代思想』(1966年)における清水幾太郎	土倉莞爾…… 6 (1)
連盟期の国際秩序構想における モーゲンソー政治的紛争論の意義 (1)	西平等…… 6 (42)
憲法の私人間効力の射程 (8)	西村枝美…… 6 (86)
カンボジアにおけるコミュニティ・ジャスティス ——記憶と歴史の共有による和解の促進——	木村光豪…… 6 (133)
研究ノート	
オバマ政権とジェンダー・バランス	大津留(北川)智恵子…… 1 (55)
国際秩序の動態的把握 ——アドルフ・ラッソンの国際法批判論——	西平等…… 2 (67)
中国のマンドレイク ——死んだふりをして罪を逃れた話——	佐立治人…… 2 (1)
B級戦犯死刑執行関係書類	永田憲史…… 4 (165)

ドイツ法における法典化後の経営判断の原則について

福 瀧 博 之…… 4 (18)

判例研究

運転者がアルコールの影響により正常な運転が困難な状態であることを認識しながら行なった被告人の了解および黙認行為が、危険運転致死傷罪の幫助にあたとされた事例

——最決平25年4月15日刑集67巻4号437頁——

山 下 裕 樹…… 6 (177)

翻 訳

真実、正義、賠償そして再発防止の保障の促進に関する国連・特別報告者の報告書(1)

角 田 猛 之…… 1 (76)
木 村 光 豪

ミヒヤエル・パヴリック
『市民の不法』(7)

飯 島 暢
川 口 浩 一…… 1 (175)
山 下 裕 樹
松 生 光 正

マーク・フィリップ・ヴェラー
「継続的契約の解約告知における継続の利益——日本の一般条項とドイツの解約告知の制限——」

寺 川 永…… 2 (80)

ライナー・ツァツィック
「行動規範の概念に関する批判的覚書」

飯 島 暢…… 2 (122)

クリスタ・トブラー
「リスボン条約と消費者法へのその影響」

カライスコス・アントニオス…… 2 (150)

ミヒヤエル・パヴリック
『市民の不法』(8)

飯 島 暢
川 口 浩 一…… 2 (165)
松 生 光 正

ニューヨーク州死刑委員会報告書（抄訳）

永 田 憲 史
後 藤 貞 人
正 木 幸 博…… 3 (227)
陳 崎 浩 司
唐 谷 恭 史
水

ニン・トマス「準備はいいか！ ニューゼーランドにおける
ユニークな統治秩序としてのハブとイウイの出現」

角 田 猛 之…… 3 (265)

クリスティアン・フェルスター
「ドイツ法における撤回権の現在
——EU 消費者権利指令の国内法化」

寺 川 永…… 3 (336)

デヴィッド・グリーンリントン
「自然の定義と環境法の境界」

角 田 猛 之…… 4 (236)

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』（9）

飯 島 暢
川 口 浩 一…… 4 (266)
山 本 和 輝

クレア・チャーターズ「マオリに対する受諾者義務と2004年前浜・海底法：
比較検討および前浜・海底法によってマオリが失ったもの」

角 田 猛 之…… 5 (332)

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』（10）

飯 島 暢
川 口 浩 一…… 5 (385)
山 本 和 輝

アンドリュー・エルエティ
「伝統的な土地に対する先住民の権利の承認：
国際条約上の諸機関による諸国家の評価」

角 田 猛 之…… 6 (198)

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』（11）

飯 島 暢
川 口 浩 一…… 6 (240)
山 本 和 輝
松 生 光 正

資 料

西夏朝の立法・刑罰・裁判

佐 立 治 人…… 1 (201)

ホセラモン・ベンゴエッチャ

「多元論者の憲法パラドクスとコスモポリタン・ヨーロッパ」
論文の翻訳と関西大学でのセミナー，講義資料（1）

角 田 猛 之…… 1 (209)

法文化のフロンティア・千葉正士

——千葉正士先生追悼プロジェクト（3・完）——

角 田 猛 之…… 1 (263)

施設見学記録（平成二五年分）

永 田 憲 史…… 1 (1)

オニヤーティ・国際法社会学研究所の紹介

——国際法社会学マスターコース・プログラム，研究所での
ワークショップおよびホセラモン・ベンゴエッチャの
比較法文化に関する講義紹介

角 田 猛 之…… 2 (190)

ホセラモン・ベンゴエッチャ「ヨーロッパの夢の終焉と
ユーロ危機への目覚ましコール」論文の翻訳と
関西大学でのセミナー，講義資料（2）

角 田 猛 之…… 2 (255)

施設見学記録（平成二六年分）

永 田 憲 史…… 2 (12)

ドマの LEGUM DELECTUS について（一）

岡 徹…… 3 (17)

ドマの LEGUM DELECTUS について（二）

岡 徹…… 4 (62)

最高裁において昭和二〇年代中葉に確定した死刑判決一覧

永 田 憲 史…… 5 (15)

金朝の立法・刑罰・裁判

佐 立 治 人…… 6 (274)

最高裁において平成二六年に確定した
死刑判決一覧

永 田 憲 史…… 6 (1)

紹介

「特別知識」に関する最近の文献(1)

——Günther Jakobs, 「知識による管轄？」——

川口浩一…… 6 (282)
森川智晶

書評

水島治郎著

『反転する福祉国家：オランダモデルの光と影』

(岩波書店, 2012年)

土倉莞爾…… 2 (303)

第66巻

論説

号 頁

電子タバコ・無煙タバコ規制の法システムと今後の法制的課題

田中謙…… 1 (1)

連盟期の国際秩序構想における

モーゲンソー政治的紛争論の意義(2)

西平等…… 1 (22)

フロイトとスピノザ(Ⅲ-2)

河村厚…… 1 (62)

政治的悪の規範理論的分析

——政治的リアリズムを中心に——

松元雅和…… 1 (98)

フランスにおけるカトリシズムとデモクラシーの間

——ライシテとキリスト教民主主義の相克——

土倉莞爾…… 2 (1)

連盟期の国際秩序構想における

モーゲンソー政治的紛争論の意義(3)

西平等…… 2 (33)

老齡加算訴訟

——憲法の観点から——

西村枝美…… 2 (68)

フロイトとスピノザ(Ⅲ-3)	河村 厚…… 2 (81)
時代を画す大統領たち ——フランス「第五共和制」論の試み——	土倉 莞爾…… 3 (1)
「フロイトとスピノザⅢ-3」の補論 ——「ゲーテのスピノザ観—『詩と真実』第14章と第16章を中心に—」——	河村 厚…… 3 (60)
厳格審査の基準の機能と利益衡量について(一)	金原 宏明…… 3 (100)
シェルドン・ウォーリンの政治的ヴィジョン ——『政治とヴィジョン』(1960年版)をとおして——	廣瀬 有哉…… 3 (129)
天地の刑法は宜しく画一たるべし ——旧中国の地獄の罪刑法定主義——	佐立 治人…… 3 (1)
半大統領制とコアピタシオン： ド・ゴールからミッテランへ	土倉 莞爾…… 4 (1)
連盟期の国際秩序構想における モーゲンソー政治的紛争論の意義(4・完)	西 平等…… 4 (45)
山川雄巳の政策学：その特徴と意義	岡本 哲和…… 4 (80)
古代レトリック再考(一) ——ローマ世界における法廷実践の観点から——	粟辻 悠…… 4 (101)
厳格審査の基準の機能と利益衡量について(二・完)	金原 宏明…… 4 (143)
作為・不作為の区別と行為記述	山下 裕樹…… 4 (190)
千葉・法文化論の軌跡 ——千葉正士追悼プロジェクトを手がかりにして——	角田 猛之……5・6 (1)

フランスの公共空間における信教の自由 ——ヴィルヌーヴ＝ルーベ市長反ブルキニ決定をてがかりに——	村田尚紀……5・6 (61)
「隠れた利益処分」再論	村井正……5・6 (83)
インドにおける大統領立法：議会政と大統領令	孝忠延夫……5・6 (109)
借上げ公営住宅における入居者の保護について	水野吉章……5・6 (149)
企業結合規制における市場支配力と 「協調的行動による競争の実質的制限」	横田直和……5・6 (203)
トラパニ海法管見	栗田和彦……5・6 (239)
スピノザにおける「媒介」の 拒絶としての革命性と救済	河村厚……5・6 (319)
ベルギーにおけるポピュリズムと地域主義政党 ——フレームス・ブロック（フレームス・ベラング）を中心に——	津田由美子……5・6 (371)
Brexit について考える	土倉莞爾……5・6 (395)
旧中国の法律公開の方法について	佐立治人……5・6 (1)
松下圭一の都市論 ——市民自治の可能性を開く——	寺島俊穂……5・6 (23)
研究ノート	
中国で裁判を受けたロビンソン・クルーソー	佐立治人……1 (1)
フランス公証人制度の現在 ——マクロン法の衝撃——	久保宏之……3 (173)

南アフリカ人権委員会

——バリ原則のローカル化という視点からの考察——

木村光豪…… 4 (233)

判例研究

自ら出産した新生児を殺害した被告人が、その死体をタオルで包み、ポリ袋に入れるなどして自宅などに隠匿した死体遺棄の事案について、葬祭義務を果たさないうまま放置した不作為による遺棄行為を起訴したものであるから、公訴時効の起算点は、警察官が死体を発見した時であるという検察官の主張を排斥し、作為による死体遺棄罪が成立するとした上、公訴時効が完成しているとして免訴を言い渡した事例

——大阪地裁判平成25年3月22日判タ1413号386頁——

山下裕樹…… 2 (107)

日本トイザラスによる優越的地位の濫用事件審決について

——「正常な商慣習に照らして不当な行為」の認定を中心に——

横田直和…… 3 (189)

翻訳

チャンズー・ソン「アイデンティティ・ポリティクスと韓国における韓国系中国人移民がいだく『故国』の意味」

角田猛之…… 1 (120)

チャンズー・ソン「名目上の兄弟——韓国に帰還した韓国系中国人移民の疎外感とアイデンティティの変容」・「越境主義の時代におけるディアスポラ包摂——韓国のディアスポラの包摂は国の発展を支えることが可能」

角田猛之…… 2 (129)

ミヒヤエル・パヴリック

『市民の不法』(12)

飯島暢(監訳)

川口浩一(監訳)…… 2 (169)

森川智晶(訳)

アレックス・フレイム

「南太平洋諸国の憲法と慣習」(1)

角田猛之…… 3 (243)

ミヒャエル・パヴリック 『市民の不法』(13)	飯島 暢(監訳) 川口浩一(監訳)…… 3 (297) 一原重貴子(訳)
アレックス・フレイム 「南太平洋諸国の憲法と慣習」(2・完)	角 田 猛 之…… 4 (282)
ミヒャエル・パヴリック 『市民の不法』(14)	飯島 暢(監訳) 川口浩一(監訳)…… 4 (347) 一原重貴子(訳)
資 料	
デジタル・コンテンツ供給契約の一定の側面に 関する欧州議会及び理事会指令提案	グンター・ヤコブス(訳) 寺川 永(訳)…… 2 (197) 馬場圭太(訳)
呉訥撰・若山拯訓読『祥刑要覧』の訳注(二)	佐 立 治 人…… 2 (1)
物品のオンラインその他の通信売買契約の一定の 側面に関する欧州議会及び理事会指令提案	グンター・ヤコブス(訳) 寺川 永(訳)…… 3 (314) 馬場圭太(訳)
「NPOと政治」インタビュー調査記録(一) 民主党政策調査会 梅坂英樹氏	坂 本 治 也…… 3 (22)
元朝の立法・刑罰・裁判	佐 立 治 人…… 4 (363)
紹 介	
「特別知識」に関する最近の文献(2) ——Günther Jakobs「知識による管轄？」へのコメント——	川 口 浩 一…… 1 (151) 森 川 智 晶